

令和3年度事業報告書

1 法人の概要

(1) 設置する学校・課程・学科等（令和3年度末現在）

学校法人 嶺南学園

敦賀気比高等学校 全日制課程 普通科

敦賀気比高等学校附属中学校

(2) 生徒定員・入学者・在籍者・卒業生・志願者数

()内は女子数

校・学科		区分	学則定員	募集定員	令和3年度 入学者数	令和3年度 在籍者数 (5/1現在)	令和3年度 卒業生数	令和4年度	
								志願者数	入学者数
高等学校	普通科		250	230	239 (116)	684 (323)	199 (90)	209 (100)	204 (99)
中学校			105	30	18 (6)	53 (28)	15 (7)	31 (17)	26 (15)
総合計			355	260	257 (122)	737 (351)	214 (97)	240 (117)	231 (114)

* 高等学校は附属中進学者を含む。

(3) 役員・教職員（令和4年3月31日現在）

役員（理事9名、監事2名）

理事長 宇野晃成

副理事長 徳本達之

常務理事 刀根 茂

理事 林 雅則 山本恒司 内藤譲治

池澤 俊之 中村 淳 古谷清和

監事 山形 晃 山本 等

評議員

林 雅則 外19名

教職員数

教員 47名 常勤講師 1名 非常勤講師 25名

事務局 7名 嘱託 10名

2 事業の概要

(1) 新型コロナウイルスに関する対応状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、本校においても他校同様、同居家族PCR検査の場合は自宅待機を要請し、換気、手指消毒、マスクの適切な装着などの指導を徹底した。部活動においても学園にて手指消毒剤、用具等消毒剤等を購入し、

感染対策を強化したが、2月、3月にかけて陽性者が複数出る状態となり、3月14日時点で、のべ20名が陽性となった。学校では自宅待機となった生徒について、特進、付属中学校ではzoom、classi等を活用、進学コース等では課題等を中心に各教科で補充することとなった。また、4月7日（水）には、入学式を昨年同様、新入生のみで挙行了。体育祭は今年度初めて、グラウンドのテントでの密を避けるためと、熱中症対策もあって敦賀市運動公園体育館にて実施、客席を間隔を空け座席指定で実施。修学旅行については、高校では11月30日から3泊4日で九州への修学旅行を予定どおり実施できたが、中学では実施予定前に、新型コロナウイルスの感染拡大状況が収束しなかったため、中止とした。卒業式についても、昨年同様、外部施設（市民文化センター）を使用し、卒業生、保護者各1名及び来賓1名（父母師会長）、教職員にて実施した。

（2）事業の取組み状況

学校の事業としては、①中高一貫教育としての特進コース、中学部の指導の充実、進学コース、教養コースを中心とした、特色のある学校づくり。②教養コースの見直し及び進学コース、教養コースの魅力アップ

①特別進学コースでは、「夜学習(18:00～19:30)」、長期休業中の補習、土曜補習、休日に学校へ登校し自習ができる自習環境の整備を進めた。今年度、旧敦賀市役所の椅子、机等の不用品を活用させていただき、第2職員室（進学指導室）や、中学部学習室、コミュニティホール、職員室前の学習スペースなどに、多くの椅子や机を配置し、全校生徒の学習場所の環境整備を進めることができた。

進学コースでは、入試に対応するため学校設定科目で「小論文」「時事問題研究」などの時間を設定。さらに受験対策として個別指導なども行った。また、教員による模擬面接などを実施。中国語選択における各種スピーチコンテストへの参加、そのための中国語指導などを充実させ、指定校選択枠なども含め、立命館大学などの難関私立大学へ合格することができた。教養コースでは、商業系の資格取得を目指す授業（簿記）と「危険物取扱者」などの工業系の資格取得を目指す授業を選択により実施した。また、「福祉」の選択授業においては関係施設へ出向いての実習を行い、内容の充実を図った。進路については4年制大学、短大、専門学校、就職と多岐にわたり、13名が国公立大学に合格。また、学校斡旋による就職希望者については、公務員関係で福井県警察3名を含め6名が、企業には27名が全員内定を果たした。

また、探究活動の一環として、リーディングスキル（基礎的読解力）向上と、コミュニケーション力、自己省察力を高めるための取り組みとしての哲学対話の実施を核とした「対話と読解のプラクティス」を高校1年生、2年生の進学コース、教養コースに学校設定科目として設定、また、1年生特進コースにおいては福井県が主催する「プレゼン甲子園」に全員が取り組み、プレゼン力を養成した。

付属中学校については、入試説明会等の生徒募集関連行事に36名の小学6年生が参加し、26名の入学予定者を迎えることができた。進学面では、付属中学校から内部進学した高校3年生が、大阪公立大学、福井大学などに合格した。

8月には日本学生協会基金の大学生20名と本校をオンラインで繋ぎ、英語キャンペーンと称するイングリッシュキャンプを行った。またキャンプの後、東京大学、東京外国語大学、立教大学、中央大学などの学生からキャリア教育をしていただいた。身近な地域との繋がりを作るため、「中池見みんなで報告会」では水の研究をポスター発表したり、敦賀駅前商店街で生徒の絵画を発表したりした。またアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトでは、インドネシアにあるアルアザル第9中学校との交流を図った。

ICT教育については、特進コースの全生徒がタブレットを所有し、学習支援ソフトの「classi」と「ロイロノート」をインストールして、授業や家庭学習等で活用した。また、進学コースの2，3年生の生徒は全員、学習支援ソフト「スタディサプリ」を使用し、基礎学力の定着に役立てた。さらに、教室等に整備されたWi-Fi機能等の活用を一層充実させ、中学生や進学・教養コースの生徒が学校のタブレットを使用し学習等に活用するようになった。非常勤の教員を含め、多くの教員がタブレットを使用した授業を展開するようになった。

部活動については、運動部では、駅伝部男子が、令和3年度福井県高等学校駅伝競走大会にて3年連続優勝を遂げ、第72回全国高等学校駅伝競走大会へ福井県代表として3年連続出場を果たした（成績23位）。また硬式野球部は第94回選抜高等学校野球大会に2年連続出場した。この他、レスリング部、男子テニス部、空手道部が、全国選抜大会に出場を果たしている。

部名	大会名・成績
駅伝部	全国高校総合体育大会陸上競技大会5000m 斎藤 将也 出場
	福井県高等学校駅伝競走大会 男子3年連続優勝
	第72回全国高等学校駅伝競走大会出場（男子23位、前回36位）
硬式野球部	第103回全国高等学校野球選手権大会 ベスト8 （1回戦対日本文理高、2回戦対三重高、準々決勝対京都国際高）
	第94回選抜高等学校野球大会 出場（1回戦 広陵高校と対戦）
	第144回北信越地区高等学校野球大会（春季） 優勝
	第145回北信越地区高等学校野球大会（秋季） 優勝
男子テニス部	第44回全国選抜高校テニス大会 男子団体出場
	全国私立高校テニス大会北信越大会 団体 準優勝
レスリング部	全国高等学校選抜レスリング大会 団体 出場 個人 尾上 怜光、影山 慧、小林 和博、山野 友輝 出場
	全国高等学校選抜レスリング北信越大会 団体 3位 個人 尾上 怜光、影山 慧、小林 和博、山野 友輝 3位
	全国中学選抜選手権 個人57kg級 ベスト8 中3 寺地 頼斗
空手道部	第35回北信越高等学校空手道新人大会 団体 形 男子 3位、女子 3位 個人 形 男子 3位 木村 真人 個人 方 女子 3位 田中はるひ
	第41回全国高等学校空手道選抜大会 男子団体形、女子団体形 出場 男子個人 木村、女子個人 田中 出場
美術部	令和4年度全国高等学校総合文化祭美術部門福井県代表 渡邊 琳
その他	県英作文コンテスト B1部門 最優秀 北方 結女
	PHP作文甲子園 審査員特別賞 中学1年 田邊 優愛
	江蘇杯中国語スピーチコンテスト中部東海地区大会 1等 菖蒲 彩葉

発達障害や不登校生徒などへの対応については、近年、特別支援を要する生徒が中学・高校ともに増加傾向にあり、教育相談担当を中心に特別支援委員会を各学期に開催する一方、家庭との連携を図り、生徒の状況に合わせて適宜対処を行った。また、月に3回、臨

床心理士であるスクールカウンセラーによるカウンセリングを、高校では生徒13名、保護者3名が計92回、中学では生徒3名が計4回、合計96回の対象生徒・保護者の支援を行っている。不登校等の長期欠席者に対しては、特別委員会を開催し、該当生徒の状況を把握して必要に応じた配慮を行った。

②受験生やその保護者にとって、教養コースというイメージがあまり良くないので生徒が誇りを持って学べるようなコースにすべく、非常勤の教員も含めて、教養コースについての会議を持ち、令和4年度に向けて、どのようなコースとすべきかを検討し、最終的に進学コース、教養コースを一本化し、進学コースにまとめることとした。その中に4つの専攻（従来の進学コースにおける「一般専攻」、「中国語専攻」、「美術専攻」と、教養コースで学ぶ商業系の科目か工業系の科目の選択及び、就職において必要とされるExcelとWordを中心に学ぶ情報の科目を中心として学習する「技能開発専攻」）を設けることとした。

また、英語と数学について、週に1時間中学の内容からの学び直しをする時間を設け、わかる授業にすることを目指すこととした。さらに進学コースの中の成績上位者でつくる「進学選抜クラス」を設け、文武両道を基本に大学進学を目指す力を養成するための指導体制を整えることとした。

(3) 生徒募集

令和4年度入試ではコースの再編があったが、それを周知するオープンスクールがコロナ禍で行えなかったことや公立学校の定員数が受験生の実人数に対し必ずしも適当ではないこと、また、従来教養コースに来ていたであろう層の受験生が通信制等の学校に流れたこと、公立学校の入試日程が早まったことなど、さまざまな要因から、定員230名に対し志願者数は209名、合格者は205名（外進191名、内進14名）であった。附属中学校は定員30名に対し志願者31名（内17名が女子）、合格者が26名（内15名が女子）であった。

(4) 教育環境の整備

- 校門前LED照明設置
- 野球場防球ネット設置工事（着工12/1、完成1/20）
- 生物顕微鏡 20台（7/28納品）
- 寄宿舍洗濯室改修・洗濯機設置
- 寄宿舍厨房消毒保管庫入替
- 普通教棟北・南面外壁等改修工事（着工7/1、完成9/29）
- 第一体育館・渡り廊下 屋上防水工事（着工7/1、完成10/8）
- 学校受水槽入替工事（着工10/1、完成11/11）

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 3 1 日

1	資 産 総 額	
	(1) 基 本 財 産	1,410,677 千円
	(2) 運 用 財 産	1,090,747 千円
	合 計	2,501,424 千円
2	負 債 総 額	107,596 千円
3	正 味 財 産	2,393,829 千円
4	資 産 内 訳	
	(1) 基 本 財 産	
	イ 預 金	58,000 千円
	ロ 建 物	1,147,950 千円
	ハ 建物付属設備	44,983 千円
	ニ 構 築 物	73,300 千円
	ホ 校具・教具および図書	86,445 千円

(2) 運 用 財 産
イ その他の固定資産

減価償却引当特定資産	482,300 千円
教育振興基金特定資産	289,996 千円
固定資産修繕引当特定資産	18,752 千円
電 話 加 入 権	434 千円
敷 金	94 千円
有 価 証 券	4,103 千円
預 託 金	94 千円
ソ フ ト ウ ェ ア	1,498 千円

ロ 現 金 お よ び 預 金

普 通 預 金	67,836 千円
定 期 預 金	96,703 千円
現 金	949 千円

ハ 未 収 金 等

未 収 入 金	学生生徒等納付金収入	355 千円
	その他の未収入金	127,284 千円
販 売 用 品	購 買 棚 卸 額	46 千円
前 払 金	前 払 金 保 険 料	184 千円
仮 払 金	仮 払 金	118 千円

5 負 債 内 訳

(1) 固 定 負 債

退 職 給 与 引 当 金	人 件 費	1,140 千円
---------------	-------	----------

(2) 流 動 負 債

未 払 金	人 件 費	70,272 千円
	その他の未払金	18,445 千円
前 受 金	入 学 金 前 受 金	2,328 千円
修 学 旅 行 費 預 り 金	修 学 旅 行 費 預 り 金	15,372 千円
預 り 金	預 り 金	38 千円

6 借 用 財 産

土 地	面 積	135,660 m ²
-----	-----	------------------------

貸借対照表

令和4年3月31日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	2,153,872,771	2,195,011,178	△ 41,138,407
有 形 固 定 資 産	1,356,601,350	1,412,001,151	△ 55,399,801
建 物	1,147,949,924	1,206,573,004	△ 58,623,080
建 物 付 属 設 備	44,982,513	47,272,722	△ 2,290,209
構 築 物	73,299,587	57,162,601	16,136,986
教 育 研 究 用 機 器 備 品	38,784,573	45,823,246	△ 7,038,673
管 理 用 機 器 備 品	18,455,557	21,255,780	△ 2,800,223
図 書	29,205,044	29,020,238	184,806
車 両	3,924,152	4,893,560	△ 969,408
特 定 資 産	791,048,500	781,048,500	10,000,000
減 価 償 却 引 当 特 定 資 産	482,300,000	482,300,000	0
教 育 振 興 基 金 特 定 資 産	289,996,500	289,996,500	0
固 定 資 産 修 繕 引 当 特 定 資 産	18,752,000	8,752,000	10,000,000
そ の 他 の 固 定 資 産	6,222,921	1,961,527	4,261,394
電 話 加 入 権	433,600	433,600	0
敷 金	94,000	94,000	0
有 価 証 券	4,103,000	0	4,103,000
ソ フ ト ウ ェ ア	1,498,211	1,339,817	158,394
預 託 金	94,110	94,110	0
流 動 資 産	293,475,663	252,718,205	40,757,458
現 金 預 金	165,488,162	199,649,170	△ 34,161,008
未 収 入 金	127,639,212	52,709,459	74,929,753
前 払 金	184,000	180,000	4,000
仮 払 金	117,855	73,182	44,673
販 売 用 品	46,434	106,394	△ 59,960
資 産 の 部 合 計	2,447,348,434	2,447,729,383	△ 380,949

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	1,140,000	792,000	348,000
退 職 給 与 引 当 金	1,140,000	792,000	348,000
流 動 負 債	106,455,717	76,117,394	30,338,323
未 払 金	88,717,716	58,269,282	30,448,434
前 受 金	2,328,250	2,471,000	△ 142,750
修 学 旅 行 費 預 り 金	15,372,000	15,252,000	120,000
預 り 金	37,751	125,112	△ 87,361
負 債 の 部 合 計	107,595,717	76,909,394	30,686,323

純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	3,934,534,083	3,910,669,181	23,864,902
第 1 号 基 本 金	3,876,534,083	3,852,669,181	23,864,902
第 4 号 基 本 金	58,000,000	58,000,000	0
繰 越 収 支 差 額	△ 1,594,781,366	△ 1,539,849,192	△ 54,932,174
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 1,594,781,366	△ 1,539,849,192	△ 54,932,174
純 資 産 の 部 合 計	2,339,752,717	2,370,819,989	△ 31,067,272
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,447,348,434	2,447,729,383	△ 380,949

資金収支計算書

(収入の部)

(単位 千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	355,100	358,587	△ 3,487
手 数 料 収 入	3,030	2,982	48
寄 付 金 収 入	12,823	13,695	△ 872
補 助 金 収 入	384,179	396,204	△ 12,025
資 産 売 却 収 入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,270	2,568	△ 298
受取利息・配当金収入	1,600	1,941	△ 341
雑 収 入	82,364	83,481	△ 1,117
前 受 金 収 入	1,940	2,248	△ 308
そ の 他 の 収 入	245,836	274,851	△ 29,015
資金収入調整勘定	△ 2,300	△ 129,926	127,626
前年度繰越支払資金	199,649	199,649	0
収 入 の 部 合 計	1,286,491	1,206,280	80,211

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	555,954	554,038	1,916
教 育 研 究 費 支 出	91,513	90,121	1,392
管 理 経 費 支 出	168,180	165,982	2,198
施 設 関 係 支 出	21,454	21,453	1
設 備 関 係 支 出	3,456	3,282	174
資 産 運 用 支 出	236,155	236,155	0
そ の 他 の 支 出	26,867	53,632	△ 26,765
資金支出調整勘定	0	△ 83,871	83,871
予 備 費	2,000		2,000
翌年度繰越支払資金	180,912	165,488	15,424
支 出 の 部 合 計	1,286,491	1,206,280	80,211

事業活動収支計算書

(単位 千円)



		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納入金	355,100	358,587	△ 3,487
		手数料	3,030	2,982	48
		寄付金	9,644	11,752	△ 2,108
		経常費等補助金	346,689	358,714	△ 12,025
		付随事業補助金	2,270	2,508	△ 238
		雑収入	82,364	83,481	△ 1,117
		教育活動収入計	799,097	818,024	△ 18,927
	事業活動支出の部	人件費	556,302	554,386	1,916
		教育研究費	144,053	146,035	△ 1,982
		管理経費	195,060	192,763	2,297
		徴収不能額	0	0	0
教育活動支出計		895,415	893,184	2,231	
教育活動収支差額		△ 96,318	△ 75,160	△ 21,158	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,600	1,941	△ 341
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	1,600	1,941	△ 341
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額		1,600	1,941	△ 341	
経常収支差額		△ 94,718	△ 73,219	△ 21,499	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	42,538	42,450	88
		特別収入計	42,538	42,450	88
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	300	△ 300
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	300	△ 300
特別収支差額計		42,538	42,150	388	
予備費		2,000		2,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 54,180	△ 31,067	△ 23,113	
基本金組入額合計		△ 24,910	△ 23,865	△ 1,045	
当年度収支差額		△ 79,090	△ 54,932	△ 24,158	
前年度繰越収支差額		△ 1,539,849	△ 1,539,849	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,618,939	△ 1,594,781	△ 24,158	

監 査 報 告 書

令和4年5月16日

学校法人 嶺南学園
理事長 宇野 晃成 殿

学校法人 嶺南学園

監 事 山形 晃 
監 事 山本 尊 

私立学校法第37条第3項および学校法人嶺南学園寄附行為第17条第1項第1号ならびに第2号の規定に基づき、本日、当法人の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の会計決算について、監査を実施した。

監査の結果、会計処理は文部科学省令学校法人会計基準に基づき適正に行われ、関係書類の記載事項はすべて事実に基づき正確であり、その収支は適法と認めた。

なお、監査に使用した関係書類は、次のとおりである。

記

事業報告書、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、固定資産明細書、基本金明細書、資金収支元帳、予算書、収入調定伺、収入決議書、支出負担行為伺、支出命令決議書、財産目録、その他の補助簿